

前杉並区長

杉並の勇氣

田中良

Vol.18

サポーターズ通信

【テーマ】

出産一時金100万円特集

日本の昨年の出生者は67.1万人で、過去最低となりました。

こうした中で杉並前区長の田中良さんが少子化に歯止めをかけていくために、本格的少子化対策に向けて杉並区独自の出産一時金100万円を提言されました。

今回はそのことについて田中さんにお聞きします。

詳しくは裏面へ

田中良サポーターズ公式

友だち追加をお願いします!

杉並区政や地域の話

公式LINE



YouTube



田中良

区政の実績(一部抜粋)

- ① 保育施設の整備…5年連続待機児童ゼロ!
- ② 区立小・中学校全校にエアコン設置
- ③ 3.11被災した南相馬市支援の為、自治体スクラム支援会議を結成
- ④ コロナ禍で全国初! 病院への直接支援で100床確保
- ⑤ 河北総合病院・杉一小の移転改築計画推進
- ⑥ 旧・近衛文麿邸「荻外荘公園」の復元・整備
- ⑦ 農福連携「すぎのこ農園」の開園、都市農地の振興

世代の責任を果たそう

プロフィール

昭和35年(1960年)・杉並区生まれ、杉並区育ち。杉並ひまわり幼稚園～桃五小～獨協中・高～明治大学政経学部卒。

テレビ東京入社後、平成2年 衆院選に徒手空拳で出馬、落選。平成3年 杉並区議選に最年少トップ当選。平成5年 東京都議選に当選、以後連続5期当選。

平成21年 東京都議会議員就任。平成22年 杉並区長に当選、以降3選。令和4年 杉並区長選187票差で惜敗。令和5年 著書「公文書に載らない東京都政と杉並区政」刊行。

自治体まつわる様々な問題についてマスコミ等で発信中。

公式サイト



出産一時金100万円で少子化に歯止めを!

—100万円とは思いましたね。内容について教えてください。

田中良:少子化対策のポイントは、若い世代が躊躇なく結婚出産できるようにすることです。そのためには、経済力が弱い若い世代を支援することです。それが「**出産一時金100万円**」ということです。具体的には、**20代で第一子を出産する場合は100万円、第二子以降はすべての世代で100万円**とします。

—100万円、インパクトがありますね。一番の心配は財源ですが、それは大丈夫でしょうか。

田中良:はい、大丈夫です。試算しました。その内容は以下の通りです。

杉並区の年間の出生者数は3,417人(令和6年)です。そのうち、20代第一子は635人で**6億3,500万円**、全世

代第二子以降は1,487人で**14億8,700万円**、計**21億2,200万円**となります。

—杉並区の令和8年度の一般会計は約2,535億円です。出産一時金の約21億円はその1%以下です。昨年の杉並区のバラマキといわれた防災カテゴリー予算が10数億円。こうした予算を見直せば十分実現できますね。



少子化対策と共に学童クラブ待機児童の解消を 杉並区は537名—なんと隣接区の中野区はゼロ、練馬区は50名

—少子化対策に加えて、子育て環境の充実も重要ですね。そこで、保育園待機児童をゼロにした田中さんに伺います。学童クラブの待機児童が今年も537名と伸びています。これは杉並区政の怠慢ですね。

田中良:私は、保護者が保育園や学童に子供を安心して預けて働けるというのが本当に重要な課題だと思います。ですから区長在職中、保育園の待機児が560名になると聞いたときに、緊急事態宣言を出して全庁挙げて取り組み、11カ月で**100人規模の認可保育園を20園増設、待機児童ゼロを達成**しました。区長のリーダーシップが大切です。

—隣接区の状況はいかがでしょう。

田中良:練馬区は昨年が51名、今年は50名。中野区は**昨年今年もゼロ**とのことです。

—とんでもないですね! こうした状況は全く知らされていません。岸本区長は全く当事者意識がないですね。それと杉並区議会も隣接区の状況などを調べ、打開策を打ち出すような議論が欠けていますね。御用聞きにもなってないと思いますね。

田中良:区民が本当に困っていることを「いつまでに解決する」という使命感とスピード感がないですね。残念です。私は**学童クラブ待機児童を2年でゼロにします**。少子化対策と共に子育て環境の向上に全力で取り組みたいと思っています。

